

線の前列に立つて全軍を導き進むことは吾等が階級闘争、絶對的必要條件となつた。かゝる際に於ける青年部の責任たるや、替に重直つた大なる責任を解ない。青年部の確立と他の部門との協力と、その協力の上で青年部の指導は、我等が勝利の一主要なる前提條件である。

## 六 教育 部

### 一 労働者教育の意義

- 一 労働組合は二つの任務を持つ。その一つは労働条件の維持改善であるが、他の一つは階級闘争の学校としての任務である。然らば、学校は、仕事である所の教育は、組合の最大の事業の一つをなすべからぬ。
- 二 だが、この学校或は教育なる言葉をブルジョア的に解釈して、それを労働者の日常生活——従つて日常闘争から切りはなされた組織のうちに思ふ事は甚だしい誤謬である。労働階級には、實際を離れた理論はないと等しく、日常闘争そのものを科目としない教育は無意義である。
- 三 ブルジョアの教育は、青年を未来（ブルジョアだけの未来）に役立たせる為のものだといふ。プロレタリアの教育は、單にその青年を未来に役立たせる為

はかりのものではなく、現在の闘争に直ちに役立たせるものである。この意味に於て、吾等の教育は謂ゆる青年教育ではない、それは老若男女を問はず「幹部」「平組合員」の差別なく、更らには、組合外の未組織労働者をも包含するところの全階級の為の實地教育である。

他の言葉を以てすれば、労働者教育なるものは、吾等が現在闘ひつづけて、ある日常闘争そのもの、展開である、かゝる立場から吾等の教育を視る時に始めて、それと、組合の他の活動方面との連鎖的關係が正しく理解され、従つて、これまでの如く組合の教育部が隱居取扱ひされることは無くなるであらう。

### 二 教育の目標

一 吾等が教育の目標は、プロレタリア理論の把握と、實際的戦術知識の獲得との二つにおるは云ふまでもない。だが、この教育の二方面は全く不可分のである。吾等の理論とは、全世界のプロレタリアの長い時代にわたる闘争経験の結晶である。凡て法則なるものは、人間が長い過去に於て無數の経験を積み重ね、自然と形づくられた習慣をまとめて個体書にしたものに過ぎぬが、プロレタリア階級の理論としてその通りだ。故に理論を重視した運動たるものは、結局過去の貴い経験と絶縁された運動であつて、それが誤謬と失敗に陥り易い。は當然であり